

平成29年度 第62回 山口県音楽創作コンクール入賞者

審査 H30.2.6

部門	部	賞	学校名	学年	氏名
歌曲	小学校	特選	山口市立大殿小学校	4年	塩田 奈央
		入選	山口市立大殿小学校	6年	南部 夢
	中学校	特選	山口大学教育学部附属山口中学校	2年	荒木 藍
		入選	下関市立文洋中学校	3年	植田 楓恋
器楽	中学校	入選	山口市立大殿中学校	1年	牛島 惇

※表中の入選欄における順番は審査上の作品番号順であり、順位ではありません。

※歌曲部門の高等学校の部および器楽部門の小学校の部、高等学校の部への応募はありませんでした。

●小学校の部 寸評

<歌曲部門>

- ・言葉とメロディのつながりを考えるとよい。
- ・和声進行が不十分な傾向にあるため、終止形などの理解を深めてほしい。
- ・簡単なリズムを反復してみるなどから始めるとよい。
- ・和声法など理論的なものは日頃の積み重ねが必要である。一方で理論のみにとらわれず、個性的、自由な発想を大切に、創意工夫、独創性がみられるとよい。

●中学校の部 寸評

<歌曲部門>

- ・歌曲であるため、音域などを考え歌いやすいという視点を大切にしながら個性を出してほしい。
- ・単調になることなく、変化が加わるとよい。
- ・和音の響きを感じながら作曲できるとよい。
- ・拍数の間違いなど、記譜の間違いが見られる。
- ・定規を使うなど、記譜を丁寧にしてほしい。また、テンポや強弱記号なども記入するとよい。
- ・クライマックスの音やリズムの選び方にひと工夫あるとよい。

<器楽部門>

- ・発想記号については、animatoよりもagitatoの方がふさわしいように感じられる。
- ・ミニマルミュージック的な要素があり、発想はよい。今後幅広いジャンルの音楽を聴き、作品に反映させていくとオリジナリティがより深まる。
- ・1曲目に関しては半終止を用いているが、もう少し崩してもよかった。
- ・音価が正確でない部分があるので確認してほしい。
- ・技巧性が高い作品だが、独創性が前面に出てくるとよい。